

松林

No.18

令和7年 11月19日
校長 古瀬 義房



感謝を伝える会を行いました

私たちは、生活をする中で、日々、たくさんの方々に支えられています。学校生活においても同様です。学校の中は、もちろん保護者の皆様、地域の皆様に、支えられています。

そこで、私たちの学校生活を支えてくださる方々に、感謝の気持ちを伝えようと、11月6日(木)「感謝を伝える会」を行いました。お越しいただいたのは、二つの団体の皆様です。

UR 羽村団地自治会の皆様、長寿会の皆様と、松林小学校コミュニティ・スクール委員会、委員の皆さんです。6年生代表委員児童より、各団体の皆様へ、感謝状が送られました。

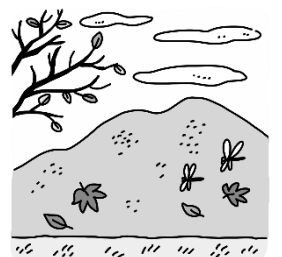
そして、各団体の皆様から、松林小児童に向けて温かい励ましのメッセージをいただきました。UR 羽村団地自治会、長寿会の皆様は、長年、動物園登校、そして、下校の際に見守りをしてくださっています。

コミュニティ・スクール委員会の皆様は、松林小の活動ボランティアや、校庭の整備など多様な活動をしています。現在、校庭のブランコやジャングルジム周辺に「クラピア」という花が植えられています。これから校庭に広がっていくのが楽しみです。



【転居に関する情報提供について】

来年度、学級編成の関係で、情報提供をお願いします。年度末の来年3月31日までに、
・学区内から学区外に転居(転出)予定のある保護者の方
学級担任または、副校長まで、御連絡ください。御理解の程、よろしくお願いします。



【学校美術館 開催!】 ●学校美術館は、平成12年より学校とPTAが協力して実施している美術館です●

松林小 学校美術館を開催します。今年度出品してくださる作家は三宅典子さん(前松林小学校図工専科)と大野美代子さんです。保護者の皆様もぜひ御鑑賞いただき、「芸術の秋」をお楽しみください。

・日にち・・・11月25日(火)～11月28日(金) 12月 2日(火)～12月5日(金)
12月 8日(月)～12月12日(金)

・鑑賞時間・・・お子様の学年の下校時刻～16時30分

・場所・・・本校 2階 職員玄関受付の壁面



ニコニコラム

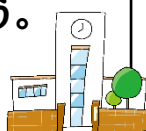
生活指導主任
特別支援コーディネーター

11月は「ふれあい月間」です。全学級でいじめ防止に関する授業（道徳や学活など）を行うほか、校内研究を要とした「児童の自尊感情の醸成」を意識した学級づくり、授業づくりを意識して実践しています。

11月の生活目標

【生活】ていねいな言葉づかいをしよう。

【安全】清掃中の避難の仕方。



遊びの中など、子供たちが「あおり」と捉える言動がトラブルのもとになっていることが多くあります。その都度、相手がどんな気持ちになるか、自分だったらどんな気持ちか一緒に考えながら指導しています。

ふれあい月間におすすめの本「ねずみくんのきもち」

小さくて臆病で失敗ばかりのねずみくん。今日もねこくんに意地悪されてめそめそしているねずみくんが「僕は小さくて 気が弱くて その上 なにをしても 失敗ばかり だから僕は いじめられる んだ」と… そこに、ふくろうさんが来てねずみくんに伝えます。誰もがもっていなければならない一番大切なことを…

ぜひ秋の夜長にお子様と一緒に読んでみてください。

【松林小学校いじめ防止基本方針より】

松林小学校でも、いじめ防止対策推進法に基づき、「羽村市立松林小学校いじめ防止基本方針」を策定しています。「いじめは、どの学校・どの学級でも起こりうるものであり、いじめ問題に全く無関係ですむ児童はいない」という共通認識にたち、全校児童がいじめのない学校生活を送ることができるよう、いじめ防止のための基本姿勢として、以下の5つのポイントをあげています。

- ①いじめを許さない、見過ごさない学級・学校づくり等、未然防止に努める。
- ②児童一人一人の自己有用感を高め、自尊感情を育む教育活動を推進する。
- ③いじめの早期発見のために、様々な手段を講じる。
- ④いじめの早期解決のために、全職員が一致団結して問題の解決にあたる。
- ⑤家庭、地域、関係機関と連携した取り組みを行う。

松林小学校 HP にも
「羽村市立松林小学校いじめ防止基本方針」を掲載しています。

【丁寧な言葉は心を整える第一歩】

今月の生活目標は「丁寧な言葉で話そう」です。丁寧な言葉で話すことは、単なるマナーや礼儀というだけでなく、子供たちの心の安定や社会性の発達にも深く関わります。

子供たちの中には丁寧な言葉を使うことが難しい子がいます。その背景には「感情のコントロールが難しい」「相手の立場を理解することが難しい」「語彙が少ない」といった様々な理由が考えられます。丁寧な言葉を身に付けるためには、「心が穏やかな状態を保つ練習」も一緒に行っていくことが大切です。乱暴な言葉が出てしまう時は、感情の許容量を超えてしまったという SOS かもしれません。周りの大人が「今は悔しかったんだね。」と子供の感情を受け止め、落ち着いたところで適切な代替の言葉を教えてあげることが必要です。また、日常生活の中で大人が良い手本を示してあげることも大切です。普段の生活の中で、まずは大人が丁寧な言葉を意識して使うように心がけましょう。

丁寧な言葉は子供が自分や他者の気持ちを大切にするための基本的な力となります。学校や家庭、地域で連携し、子供たちが「丁寧な言葉」を身に付けられる環境を整えていきましょう。